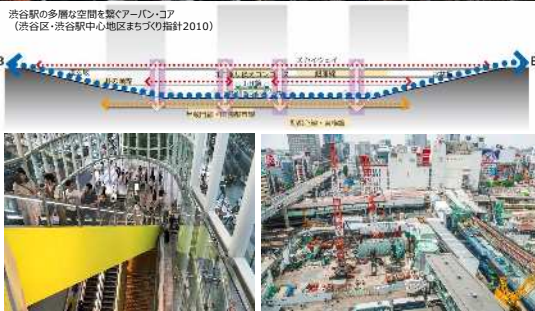


- 私たちの仕事は、これからの社会に革新的な価値を提供し、未来をプロデュースすることです。
- 都市計画・まちづくり分野を担う技術者はまちづくりのビジョンやコンセプトを描き、様々な分野のプロフェッショナルと連携しながら一気通貫のサービスを提供することで社会にイノベーションをもたらします。

■大規模拠点駅周辺における開発プロジェクト（渋谷駅周辺整備計画）



渋谷駅の多様な空間を繋ぐアーバンコア
(渋谷区・渋谷駅中心地区まちづくり指針2010)



2019年11月1日開業渋谷スクランブルスクエア

アーバンコア

渋谷駅東口の過去の工事状況

<業務概要>

急激な利用者増加を背景に整備・機能増強がなされてきた渋谷駅周辺では、駅・道路・河川・下水等の都市基盤施設の老朽化や安全性の課題を抱えています。我々は、そんな渋谷駅周辺におけるまちづくり、都市基盤整備ならびに大規模開発等に関わる、構想、計画、設計、工事調整等、多岐にわたる分野で業務を行っています。

<業務の特徴>

- 《歩行者ネットワーク》200万人/日の動線整備
「谷地形」の高低差を解消するため、東西方向には道路を跨ぐ「橋のような」、あるいは地下階を結ぶ「トンネルのような」水平移動の歩行者ネットワークに加え、「アーバン・コア」と呼ばれる縦断移動の歩行者ネットワーク空間を計画しました。
- 《多様なステークホルダー》2027年まで続く整備事業の調整・とりまとめ
渋谷区が中心になり、国・東京都とも連携しながら、当社が全体の調整を図っています。全ての工事が同時並行で進むのではないため、途中段階で供用される施設と工事中の施設が混在する期間の対応が重要となります。

■地域らしさを感じさせる空間デザイン（長崎漁港防災緑地整備）



防災緑地全景

場所の規律を持たせる軸の設定



<業務概要>

長崎港の再奥部にあった魚市場を移設し、その跡地に長崎県庁舎・県警本部棟とともに緑地を設置したものです。本緑地は、漁港緑地として初めての防災緑地であり、防災活動機能はもちろん、港への眺望を活かすとともに、祭りやイベント日にも使われる場とすることに留意し、計画、設計、施工監理（重点管理）を行いました。受賞歴：「2019年度グッドデザイン賞」「CLA賞2018設計部門 優秀賞」「平成29年度照明普及賞」

<業務の特徴>

- 《地域らしさ》場所らしさ、長崎らしさを取り込んだデザイン
長崎駅と長崎港に挟まれたウォーターフロントであるため港への眺望を大事にすること、長崎を象徴する稲佐山と風頭山を結ぶ場所に位置することから、場所の規律を持たせる軸として、港の軸/山の軸を設定し、デザインを展開しました。また、長崎県産の石や現地で発掘された旧魚市場時代の舗石を活用や、県民の広場として県内21市町の木や、防災緑地として果実のなる樹種の選定を行いました。
- 《一体的な空間づくり》設計エリアを横断した合同調整会議
隣接する県庁舎及び県警、駐車場棟など建築側との一体的な空間づくりを実現するために、各施設の担当者を集めた合同調整会議の開催を企画し、互いの設計エリアを横断して提案、検討を行いました。

■官民連携による都市再生プロジェクト（基本計画策定～アドバイザー業務）

<業務概要>

空洞化の進む都城市の中心市街地の再生に向け、公共施設整備事業と民間施設立地支援事業を推進し、官民連携による複合施設「Mallmall（まるまる）」を整備しました。

<業務の特徴>

- 《一気通貫のサービス提供》調査・計画～事業化
中心市街地活性化に係る計画の策定～事業を実施する民間事業者の公募・選定に係るアドバイザー業務に至るまで、一気通貫のサービス提供を行いました。
- 《魅力ある中核施設の実現》運営事業者の提案に合わせた図書館
「読む・借りる」だけでなく「表現の場」としても利用できる新たな図書館の実現により、運営開始9か月で来館者数が100万人を突破しました。（旧図書館は約17万人/年）



■被災市街地の復興（現地再建の土地区画整理事業）

<業務概要>

東日本大震災で津波被害を受けた宮城県名取市閉上地区において、『閉上地区・閉上東地区 被災市街地復興土地区画整理事業』（面積約120ha）を行うにあたり、事業計画作成、都市計画決定・事業認可取得支援、基本設計、実施設計、まちづくり協議会の運営支援までを、一貫して総合的に支援しました。

<業務の特徴>

- 震災後すぐに現地に事務所を構えることで、**現地の状況や住民意向を把握**し、復興計画の策定に反映させました。
- 『**現地再建**』の方針に基づき、約5mの宅地の高上げを実施し、土地区画整理事業に関連する事業計画作成、都市計画・事業認可の取得支援を一貫して支援しました。
- 事業認可後は、工事ゼネコンとJVを組み、『**設計・施工一括型**』として綿密なやりとりを行い、**宅地造成や道路・下水道等のインフラ基盤関連の実施設計に反映**させるとともに、**早期の宅地再建・復興を実現**しました。
- 住民の意向を正確に把握・反映するため、『**閉上地区まちづくり協議会**』の運営支援を行い、**住民と名取市をつなぐ役割を果た**しました。



閉上地区・閉上東地区航空写真（2019年7月撮影）

出典：アドステージ



基本設計時のイメージパース

出典：名取市